

4回連続講座

中国語の「わからない」「難しい」に応えます！

- 1 東京駅隣接～仕事帰りに中国語！
- 2 2コース開講～興味レベルにあわせて
- 3 信頼の講師陣～実績豊富な大学教員

コース
1

「了」と「把」構文、どういときどう使う？

～苦手意識を払拭し、使える文法を目指します～

講師 曹泰和 日時 8/30(金)、9/6(金)、9/20(金)、9/27(金) 19:00～20:30

「了」や「把」構文の用法について、まず「難しい」という先入観を取り払ってもらいます。皆さんは文法学者ではありません。大切なのは「なんとなく分かった」という感覚と「ある程度使える」という自信です。ポイントを整理すれば、必ず使えるようになります。

コース
2

ステップアップ集中講座

～まとまった表現力と中国語らしいリズムを習得します～

講師 承春先 日時 8/27(火)、9/3(火)、9/10(火)、9/17(火) 19:00～20:30

短い文章ならなんとか言えるけれども、まとまった表現がうまくできない…そんな中級者の悩みに応えます。手本となる中国語文章の朗読練習、200字～250字程度の作文→文法・発音の修正→発表という内容で進めていきます。作文テーマは「日本の夏を中国人に紹介する」。上級者へとステップアップしていく確かな手ごたえをつかんでください。



申込受付：2019年7月16日(火) 正午～8月3日(土) 正午

各コース定員15名(先着順、定員に達し次第受付終了)

受講
料金

90分×4回
 一般：6000円
 立命館卒業生：4000円
 立命館教職員：4000円
 他校学生：4000円
 ※入金後の返金は致しません。

申込
方法

立命館孔子学院HP>弱点克服講座で内容をご確認のうえ、同ページの「お申込み方法」→「弱点克服講座受講申込フォーム」よりお申し込みください。


<http://www.ritsumei.ac.jp/confucius/weakpoint/>

現在、立命館孔子学院中国語講座を受講されている方は、欠席1回分を振り替えることができます。振替適用後の受講料は、一般4500円、立命館卒業生/職員/学生3000円です。詳しくは開講時にお送りしている書類または孔子学院のHPでご確認ください。

コース
1

「了」と「把」構文、どういうときにどう使う？ 教室1

日程 8/30 (金)、9/6 (金)、9/20 (金)、9/27 (金) ※全4回
時間 19時00分～20時30分

「了」と「把」構文は、苦手と感じる方も多いのではないのでしょうか。学者レベルでも様々な議論があるぐらいですから、学習者が難しいと感じるのは当然です。でも、「了」はどういうときにつけるのか、また、どういうときはつけたらダメなのか、「把」構文はいつたいなんのためにこんな言い方をするのか、そうしたことをある程度整理していくと、ずいぶん「分かった!」と思えるものです。そして、この「分かった!」という感覚が大切です。「ややこしい」と思っているだけでは会話で使えません。「これで明日から「了」が使える」「把～」って言えそう——そういう実感をもってもらうことを目標にします。

予定内容

8/30	“了”について—その1—
9/6	“了”について—その2—
9/20	“把”構文について—その1—
9/27	“把”構文について—その2—



曹泰和 先生

长春市出身。吉林大学外国語学部日本語学科を卒業。1999年 現在のお茶の水女子大学大学院比較文化学科に入学し、2006年12月博士号取得。専攻は 現代中国語語法。お茶の水女子大学の専任講師を歴任、現在、慶應義塾大学、中央大学、上智大学等の大学で中国語を教えている。執筆編集に『日本語ライブラリー中国語と日本語』（朝倉書店）、『はじめよう中国語』（NHK学園）、『李麗と話そう—中国語初級文法&会話』（郁文堂）『中日辞典』（講談社）『日中辞典』（講談社）等。

コース
2

ステップアップ集中講座 教室1

日程 8/27 (火)、9/3 (火)、9/10 (火)、9/17 (火) ※全4回
時間 19時00分～20時30分

「成段表現」（ある程度まとまった内容の表現）ができるようになりたい——中級学習者なら誰もが思うことではないのでしょうか。きれいな中国語文章の朗読を通じて「抑揚頓挫」のテクニックを習得し、正確な発音と中国語らしいリズムでまとまった内容の表現ができるようになることを目指します。そのために、まず、不正確な発音を直します。次に、これまで学習したことを生かして、まとまった内容の文章を作る訓練、朗読の訓練をしていきます。4回の講座で正しい発音とリズムを身につけ、表現力、会話力のステップアップにつなげていきましょう。

共通テーマ

「日本の夏を中国人に紹介する」というテーマで200字～250字程度の文章をつくり、それを正確な文法と発音で発表できるようにします。

予定内容

8/27	「车」「设」「找」「秋」などの苦手な発音を反復練習し、文のアクセントに注意して朗読の基礎を復習します。次回までの課題「『日本の夏を中国人に紹介する』というテーマで200～250字程度の文章を書く」について説明します。
9/3	課題文の朗読訓練をし、自作文（日本の夏を紹介）の朗読、発音チェック、文法的な解説をしていきます。ポイントは朗読の要点を念頭に置きながら文章を読むことです。
9/10	正しい発音と「抑揚頓挫」の要領で課題文と自作の文章の朗読をおこない、それを通じて語気を吟味し、発音の精度をあげていきます。苦手な発音は何度も練習します。
9/17	自作文を、文法でも発音でも完璧にしあげていきます。そして、自信をもって自分の文章を発表してもらいます。



承春先 先生

上海生まれ、1988年来日、筑波大学大学院修了、芸術学修士。以降昭和女子大学、大東文化大学で中国文化史、書道、中国語を教える傍ら愛知万博での中国語同時通訳等の通訳や翻訳の仕事に関わっている。訳書に『経営就是改革』鈴木松夫著、『人为什么会言行不一』齐藤勇著、『汉字书法审美范畴考释』河内利治著（いずれも上海社会科学院出版社出版）がある。